



Joji Hirota



久保田悠太香



被災地への祈りの会

レクイエム

江差追分 鎮魂歌

Joji Hirota with Triton Chamber Ensemble

被災地への祈りの会

江差追分～レクイエム

Joji Hirota with Triton Chamber Ensemble

指揮者 Yutaka Kubota

日時：2011年8月11日(木) 18:30開場 19:00開演

場所：聖路加国際病院旧館チャペル 料金：無料

被災され、涙を流された多くの方々にレクイエムをお届けし、少しでも多くの剰余金を献金するために
ご来場者さまには募金をお願いします。

主催 海の向こうのメッセージを届ける会 (代表 松任谷愛介)
共催 聖路加看護大学「きぼうときずなプロジェクト」
協賛 ミツハシライス/株式会社ショウタイム
協力 聖路加国際病院/聖路加看護大学/株式会社アルク
株式会社 CNI / 畑元太鼓店 / ヴァージンアトランティック航空
一般社団法人 元気ジャパン / ディーバミュージック
後援 bayfm / Inter FM / 株式会社すまいるネット

<お申し込み先>

聖路加看護大学事務部 (富山)

TEL: 03-3550-2366

FAX: 03-3543-6092

先着300名様で締め切らせていただきます。

大震災から 4 週間後の 4 月 5 日 「被災地の方々のために何かをしたい」と考える音楽家たちが ロンドン郊外に集まり「江差追分～レクイエム」が録音された。

荒い波風 もとより覚悟
乗り出す舟は浮世丸・・・
西か東か 身は白波の上
漂う海原 果てもない・・・

短い歌詞に込められた江差追分の力は人種の壁を越えて人を動かし、そして電波に乗って日本でも静かな広がりを見せている。
音楽家たちが魂をこめて演奏した江差追分。彼らの思いはこの曲を被災地の方々に届け、ひとときの安らぎを感じていただくことだった。

多くの方々温かいご支援を得て、ロンドンから音楽家廣田丈自を迎え、「江差追分～レクイエム」開催の運びとなった。

そもそも「追分」とは路の分岐点のこと。西と東、南と北、過去と未来、静と動・・・

追分を前にして、想いがひとつになればと思います。

プロデューサー 松任谷愛介

今晚の音楽とコンサート収益金のすべては、被災され、多くの大事なものを失い、涙を流されたの方々のためにお届けします。



廣田丈自（パーカッション・和太鼓・尺八・唄）

北海道出身、現ロンドン在住。京都芸術大学 4 年在学中 日本の劇団と共にアビニヨン芸術祭参加の為、渡仏 その後イギリスのダンスカンパニーリンゼイケンブに打楽器担当、音楽監督として参加。日本文化の紹介、普及に貢献したとして在英日本大使館より、大使館長賞を授与される。2007年「ニュース ウィークの世界が尊敬する日本人100人」の一人に選ばれる。BBC テレビドラマ、ロイヤルシェイクスピア劇団の音楽担当、その他世界の有名アーティストとの共演多数。震災に心を打たれ、2011年4月5日、ロンドン・メトロポリタン・オーケストラと江差追分前唄～レクイエムをロンドン郊外「パインウッドスタジオ」で収録。現在に至る。



久保田悠太香（指揮者）

1950年長崎生まれ。1989年に南西ドイツ室内管弦楽団を指揮してドイツ楽壇にデビュー。緊張感と集中力溢れた演奏は各紙で絶賛される。その後ドイツ各地での演奏会や初来日公演の客演指揮をつとめる。1991年にヨーロッパのメジャー・オーケストラの主席を勤める日本人演奏者を集めて結成された「ユーロ・ジャパン・オーケストラ」の常任指揮者に就任。高度な演奏技術と様々なジャンルの曲を音楽性豊かに表現するヴィルティオーゾ・オーケストラとしてヨーロッパに衝撃を与える。世界で活躍するアーティストたちのジャンルを超えたコラボレーションによる斬新なプログラムのコンサートを各地で開催している。



トリトン・チェンバー・アンサンブル

2001年の第一生命ホール・オープニング企画「アイネクを弾こうアンサンブル」を中心に結成されたプロ・アマ混成の弦楽合奏団。2003年から5年間は聖路加国際病院チャペルでパイプオルガンと共に、2008年からの4年間は同病院トイスラーホールで、心に寄添うような弦楽合奏曲を選んで生演奏することにより入院患者の方々に少しでも心安らぐひと時をもって頂けるように、との思いで活動している。また、同アンサンブル首席のトリトン弦楽四重奏団としても知的障害者施設等を訪問して、音楽を必要としている方に生演奏をお届けしている。毎年交代する若手プロが練習を指導するが2011年よりNHK交響楽団第一コンサートマスターの山口裕之が本番の弾き振りをしている。

「きぼうときずなプロジェクト」について

きぼうときずなプロジェクトでは、聖路加看護大学が関連団体と共に、地震・津波被害に加え、原発事故そしてこれに伴う風評被害が重くのしかかる福島県住民のため、①避難所・仮設住宅・在宅での医療・看護支援と心のケア、②「くすりと健康」手帳配布、③現地看護実践等を通じた被災住民ニーズの把握、その行政への提供、④正しい放射線リスクについてなど、被災者に対する情報提供等、復興に向けたさまざまな被災住民支援活動を行なっています。

お問い合わせ先

聖路加看護大学事務部（畠山）
TEL: 03-3550-2366
FAX: 03-3543-6092
Email: komaki-hatakeyama@slcn.ac.jp